

題材名：安全で環境にやさしい野菜作りに挑戦しよう

内容のまとめ

内容「B 生物育成の技術」

- (1) 生活や社会を支える生物育成の技術
- (2) 生物育成の技術による問題の解決
- (3) 社会の発展と生物育成の技術

1. 題材の目標

生物育成の技術の見方・考え方を働かせ、地域の自然環境へ配慮して野菜を栽培する実践的・体験的な活動を通して、生活や社会の中で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身につけ、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。また、地域社会の中から生物育成の技術と環境に関わりの視点で捉え、社会からの要求、作物等を育成・消費する際の安全性、生産の仕組み、品質・収量等の効率、環境への負荷、経済性、生命倫理等に着目し、問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

2. 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解しているとともに、安全・適切な栽培、検査等ができる技能を身に付け、技術の概念を理解することができる。	生物育成の技術が自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けるとともに、地域社会の生活を豊かにする生物育成の技術を評価し、適切な管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について提言をまとめることができる。	これからの地域社会の生活を豊かにしていくために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。